

祝 卒業

～興讓の精神を胸に次のステージへ～



三月二日、第六十三回卒業証書授与式が、挙行されました。厳肅な中にも温かい雰囲気の中で進行し、三年間でたくましく成長した卒業生達は、凛々しく充実した表情を見せていました。

Yonezawa Kojokan High School

興讓館だより

平成23年3月31日発行
第20号
山形県立
米沢興讓館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>



まで、全て私たちの生きる糧となっています。これまで出会った人々の縁、これから出会う人々の縁を大切にしたい。世界へ飛び出していきたい。

旅立ちの時は来ました。これまで興讓館で学んだたくさんのごと、学則、興讓の精神、校歌のフレーズにいたるまで、全て私たちの

この興讓館で過ごした輝く日々は、お守りのように私たちの胸で光っています。だから、そんなときには思い出しましょう。一緒に歩いたたくさんの仲間、先生方、家族がいることを。自分ひとりじゃないということを。そして、今度は私たちが支えてくれたたくさんの人々に恩返しをすること。自分のゆずれない夢を叶えること。それが最大の恩返しなのではないでしょうか。自分が歩いて行くことが誰かの支えとなるのです。

この興讓館で過ごした輝く日々は、お守りのように私たちの胸で光っています。だから、そんなときには思い出しましょう。一緒に歩いたたくさんの仲間、先生方、家族がいることを。自分ひとりじゃないということを。そして、今度は私たちが支えてくれたたくさんの人々に恩返しをすること。自分のゆずれない夢を叶えること。それが最大の恩返しなのではないでしょうか。自分が歩いて行くことが誰かの支えとなるのです。

門出の言葉

渡部 真理奈
(米沢四中出身)



興讓館高校がいつまでも誇り高き学校であり続け、この「興讓の精神」をいつまでも後世へと伝えていけるように在校生一同努力することをここに決意します。

興讓館で受け継がれてきたこの精神を後に続く私達も受け継ぎ頑張りま

三年生の皆さんは、これから新たな世界へと一歩を踏み出す事になります。この三年間の高校生活で培ってきた「興讓の精神」を胸に力強く生きていって下さい。今という時代は決して安定しているとは言えません。しかし、この「興讓の精神」は未来を切り拓いていく上で重要な鍵となってくるに違いありません。自他を尊重し世のため

三年生の皆さんは、これから新たな世界へと一歩を踏み出す事になります。この三年間の高校生活で培ってきた「興讓の精神」を胸に力強く生きていって下さい。今という時代は決して安定しているとは言えません。しかし、この「興讓の精神」は未来を切り拓いていく上で重要な鍵となってくるに違いありません。自他を尊重し世のため

銭の言葉

佐原 祐希
(米沢一中出身)



三月五日、理数科生徒による課題研究発表会が行われました。内容は一年生によるポスターセッション及び二年生によるグループ別の発表会です。一年間をかけて継続して実験・観察・研究してきた成果を、各グループ八分の持ち時間で工夫しながら発表しました。



課題研究発表会

古居 晴菜
(米沢四中出身)

理数科のメイン行事でもある理数科研究発表会に参加して、様々な事を学びました。私は

化学班でたんばく質の定量を試みました。実験が失敗しては試行錯誤してやり直すの繰り返しでした。しかし、残念ながらお世辞にも成功したとは言えないような結果しか得ることが出来ませんでした。しかし、男子たちの素晴らしいレジメや夜遅くまで頑張って杏子さんが作ったスライドが、私達の研究を無意味ではないものにした。失敗した事を整理してまとめ、原因などを分かりやすく説明するのは大変だったと思います。また、先生方も失敗を重ねる私達を温かく見守って下さりとても心強かったです。

発表当日、私の班はギリギリまでオーピングが完成しませんでした。なんとか間に合いました。このようなドタバタも楽しい思い出です。本番は他の班の発表も面白くて、一番うちのクラスが盛り上がり過ぎていたようで本当に幸せでした。理数科のほんのひととした雰囲気の中行われた研究発表は大成功だったと思います。私はこの理数科に入れて本当に良かったと思います。

理数科 課題研究 発表会

今年で二回目となる興譲館法科高等学院が、二月十七日、三月八日二回に分けて実施されました。一回目は検察官の仕事についての話、二回目は検察側と弁護側に分かれて模擬裁判を行いました。生徒にとって初めて経験することはかなりでしたが、積極的に参加し、実施後の質疑応答の時間も活発なものでした。

法科高等学院を通して

淀 紘一郎
(川西二中出身)

先日行われた興譲館法科高等学院では、山形地方検察庁米沢支部長である辻さんから、検察官の仕事についてたくさん貴重なお話を聞かせて頂きました。検事になるには、大学卒業後法科大学院入学、卒業後司法試験に合格する必要がある、決して楽なことではないと改めてわかりました。また検察官と検察事務官は互いに協力し合い、チームプレーで仕事をしているということも印象に残りました。

今回の体験で得たものを生かし、自分の目標に少しでも近づけるように努力していきたいと思えます。



興譲館 法科高等学院 開催





地域伝統行事への積極的参加

米沢市の冬の伝統行事雪灯籠祭りの雪灯籠制作に今年も参加しました。自治会執行部と七つの運動部で、計十基の雪灯籠を制作しました。

雪灯籠作りに参加して

笹原 澄華
(米沢四中出身)

二月八日、十一日に雪灯籠作りをしました。今まで十六年間米沢に住んで雪灯籠を見たことはあっても作ったことはなかったので、初めての体験にわくわくしながら作業しました。固まっているトーフを削って形を作る作業では、下で削っている人の頭の上から雪が落ちるといふハプニングがたびたびありましたが、どの部活も部員同士で声を掛け合いながら仲良く作業していました。作り方を丁寧に教えてくださった方のおかげでもあり、立派な雪灯籠を完成させることができ、良い思い出になりました。



スキー部大会結果

〈クロスカントリー〉

- 高橋 謙也
15km フリー
東北大会・インターハイ出場
- 渡邊 志保
10km クラシカル
東北大会・インターハイ出場
- 有路 篤実
10km フリー
東北大会・インターハイ出場
- 齋藤 大地
5km クラシカル
東北大会・インターハイ出場

〈アルペン〉

- 有路 篤実
大回転 東北大会出場
回転 東北大会出場
- 齋藤 大地
大回転 東北大会出場
回転 東北大会出場

インターハイは、岩手県八幡平市で開催され、山形県のクロカン選手は宿舍がみんな同じだったこともあり、他校の選手と交流でき賑やかで楽しかったです。

レースでは、自分なりに一生懸命滑ったつもりでしたが、結果は奮わず全国のレベルの高さを実感しました。これらの経験によって、技術面、精神面の課題を見つけることができました。近いうちにまた新潟県妙高市で行われるジュニアオリンピック大会が控えているので、限られた時間の中でも自分の弱点を少しでも克服して大会に臨めるように頑張りたいです。

燃える闘志 光る努力 蔵王の樹氷をかけぬけろ!

蔵王インターハイ大会スローガンに採用される

クロスカントリー

渡邊 志保
(米沢三中出身)

平成二十三年度インターハイが山形市蔵王を会場に開催されます。その大会スローガンに安部智佳さん(長井南中出身)が応募したスローガンが最優秀賞に選ばれました。ポスターやパンフレットをはじめ、さまざまな場面で使用されます。



スキー授業



センター試験 激励会



喜びの春到来

一橋大・東北大など難関大入試続々突破
国公立大学合格120名

予餞会



このたびの東北地方太平洋
沖地震において被災された
皆さまに、心よりお見舞い
申し上げます。